

佐賀女子短期大学付属ひしのみこども園

ひしのみだより

令和8年10月1日

文責 園長 和泉 秀浩



「遊びは学び」

マックの経験が教えてくれる？

右の写真は、子どもたちが考えた遊びです。何の遊びだと思えますか。

これは、マックのドライブスルーごっこです。様子を見てみると、木の葉を商品やお金にし、三輪車に乗った子どもたちは、何度も何度も並んでいました。

保護者の様子をよく見ているようで、マックに連れて行ってもらった経験を思い出しながら、注文していました。何より、待つことが苦手な年齢の子どもたちが、列を乱さずに待っています。社会規範の一つである「待つ」ということをマックは教えてくれていました。

「幼児期までに育てほしい10の姿」というのがあり、それを目指して教育保育にあたっています。

このマックごっこをしている子どもたち一人一人の様子をよくよく見てみると、右に示した10の姿のほとんどを見取ることができました。

乳幼児期の遊びは、これから生きる子どもたちにとって、基盤となるものであると、あらためて感じる一場面でした。



「幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿」

- ①健康な心と体
- ②自立心
- ③協調性
- ④道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤社会生活とのかかわり
- ⑥思考力の芽生え
- ⑦自然との関わり・生命尊重
- ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨言葉による伝え合い
- ⑩豊かな感性と表現

「ひまわりナイトフェスティバル」年長児

9月19日（土）は、「ひまわりナイトフェスティバル」を開催し、ひまわり組（年長児）のみんなの楽しい1日となりました。

園バスを使って宇宙科学館へ行き、1時間30分ほど体験や見学をしました。午後5時頃ひしのみこども園に戻り、夕食、お楽しみ会、探検、花火と、午後8時30分までの行事です。

夕食は、カレーライスでした。みんなもりもりと食べました。お楽しみ会は、古川先生、彌永先生が、子どもたちの笑いが絶えない時間を作ってくださいました。探検では、6つのミッションに挑みました。夜の園舎を巡りました。最後は、花火をしました。笑い声や歓声がいっぱいで笑顔が絶えない1日となりました。

子どもたちの良い思い出となるよう準備や場づくりをしていただいた先生方には、園長として感謝するばかりです。

